



上尾ロータリークラブ

2012-13年度テーマ

奉仕を通じて平和を



島村 健会長

第2487回 例会 会長あいさつ

2013.4.11

週報 No. 1952
 発行 2013年4月18日

会長 島村 健
 幹事 齋藤 博重
 副会長 関口 和夫
 副幹事 齋藤 哲雄
 編集責任者
 クラブ広報委員長 横山 泰史

行事予定
 4月25日 地区協議会報告
 (時間変更)

皆さんこんにちは。ご多用の中ご出席をいただきましてありがとうございます。

また、昨日は第5グループのゴルフコンペに参加いただいた皆様ありがとうございます。

3月16日の上尾RCの50周年から大宮西RC50周年、上尾西RC40周年、岩槻RC50周年と4週続けて周年事業ありました。その中で上尾RC以外は、台湾のクラブと姉妹クラブを結んでいて再契約の調印式を行ったりしていました。大宮RCは姉妹クラブを結んでいませんが、昭和44年以来、米国ニュージャージー州、トレントンRCと友好関係を結び、毎年夏期1ヶ月間を学生の交換期間と定め、交互に学生のホームステイを行い、国際親善と理解を深めております。

先日4月6日の岩槻RCの50周年では、大宮RCの中川会長、桜井幹事、大宮西RC中村会長、内山幹事と同じテーブルで、いろいろと意見交換しましたなかで、50周年を機会に、まず会長、幹事で交流しましょうということになりました。といっても、第3グループ、第4グループは、新年度の初例会、第二例会に会長、幹事がグループ内に表敬訪問するようですので、上尾以外はお互い良く知っていると思いますが、今年度も残り少ないので調整したいと思います。

もう一つ、今月のガバナー月信にも掲載されていますが、大宮西RC、1990年代は90人の会員が、2010年には42名にその後2年半で86名に倍増させました。現在3年未満の会員が全体の62.8%で平均年齢52歳と非常に若いクラブです。ひとつの考え方ですが、会員を増やすためには、入会がビジネスにつながる事が大事で会社のためにならなければ、今の若い人はなかなか入会しようとしないのでそこをわかってあげることが大事と私は耳にしました。確かにロータリー活動をしなからお仕事に繋がることがあれば、なおいいのではないのでしょうか。

本日は、のちほど渡邊プログラム委員長より紹介もあるかもしれませんが、「語り合おう歴史を、そして次世代へ」50周年のテーマで、本日は、高橋良吉さんに来月には細野隆司さんに卓話をお願いいたしました。また、中央病院の中村先生には渡邊委員長とお願いに伺いま



AGEO ROTARY CLUB

したが、予定が合わず今年度中にお招きするのは難しいと思います。

40周年記念誌を見ますと、上尾東RCさんは、1984年3月13日に発会式がありまして、5月15日創立総会が開催されています。そして、上尾RCから高橋良吉さんはじめ、岩瀬敏夫さん、成田善雄さん、小倉行雄さん、大野耕平さん、鈴木稔さん、藤井一さん、渋谷寿光さん、8名の方が移籍されています。本日は貴重な話をいただけると思います。よろしくお願いたします。

幹事報告

齋藤博重幹事

◆来週の例会後、保健センターにて記念品の贈呈式を行います。その模様を写真撮影し記念誌に掲載をする予定です。皆様のご参加よろしくお願いたします。

◆6月6日に齋藤会員の歓迎会を行います。皆様奮ってのご参加よろしくお願いたします。

委員長報告

国際奉仕委員会 須田悦正委員長

4月9日埼玉会館にて国際奉仕委員会が開催されました。

その委員会に参加してきましたので本日はご報告させていただきます。内容といたしましては補助金を利用したの国際支援を各クラブに是非ともお願したいとのことでした。

上尾ロータリークラブでは現在、ナイジェリアへの支援活動を行なっております。2770地区では97%のクラブが何らかの国際支援活動を行なっているそうです。最後に上尾ロータリークラブが表彰され表彰状をいただいたことを報告させていただきます。ありがとうございました。

卓話

高橋良吉様

皆様、こんにちは、ご紹介がありましたとおり私は昭和56年の4月にこの上尾ロータリークラブに入会させていただきました。その後、上尾東ロータリークラブの設立にあたって私含め数名が上尾東に巣立っていきました。残念ながら去年の6月に29年の活動に幕を下ろすことになりました。会員増強に関しては上尾だけではなく他の地区でもなかなかうまくいきません。やはりロータリークラブは先ほど会長も仰っていましたが、何かビジネスに繋がればいいのかと思っております。私自身も39歳でロータリークラブ、青年会議所に入りました。目的は何だったのかと言われますと、私は新潟からきた人間ですの上尾に知人が少なく、商売を始めるにあたって、何かの団体に入っていくらか自分を売り込んで仕事に繋がればよいという思惑もありました。確かに仕事と関係なくロータリー活動が出来れば一番いいと思いますが、若い人にも何かお仕事に繋がれば、入ってくる可能性も少し上がるのかなと思いました。私が調べたところによりますと、日本は人口割合に比べるとロータリアンの数は世界的に見ても多いです。世界に100万人いるロータリアンの中で日本が10万人ですので、その1割が占めていることとなります。日本がこれから会員数を増やしてかつての勢いを取り戻すには、何らかの仕掛けが必要なのかなと私はそう思います。



高橋良吉様

ロータリーのお話はここまでにして、本日は今年行われる税制改正を中心にお話したいと思います。まず初めに世界の経済について少しお話をさせていただきます。ここ10、15年の間、アメリカを中心として自由主義社会、市場原理主義のスタイルをとっている国が増えました。その結果、所得が集中してしまっていて1%くらいの人にその国の所得の3割~4割が集まってしまいう状態になり残り



AGEO ROTARY CLUB

の99%の人達が残りの所得を奪い合っている状況が世界的に起きています。これがグローバル化の中身です。特にその症状が激しいのが中国で中国も発展してきたと言いつつ、発展しているのは一部の方達でして田舎の方では未だに食べることも困難な人もいます。

アメリカもそうなりつつあります。アメリカの共和党の政策には資産家へどんどんお金が流れていく仕組みを掲げています。韓国も一生懸命に自由化を図ってアメリカとのATFや自由貿易を入れた結果ですが、財閥などは非常に潤っています。ところがそこを除いた職業の方はとても大変な状況です。財閥が一生懸命所得を上げていかるといいますと、株主の為です。韓国の大手10社の財閥の株主は半分以上外国人です。そうなりますと韓国の人は大株主の人達の為に一生懸命に働いて上がった所得を吸い上げられている状態です。アメリカは株主を大事にして企業はいい状態を保ち所得を上げてその上がった所得を税金で納めた後、株主に還元しなさいというスタイルです。この状況が続くとますます所得格差が広がって他の人達は貧しい状況が続くこととなります。韓国の国民はけしていい状態になっておりません。グローバル化して自由化市場に任せて野放ししますとますます格差が広がるというのが、世界の姿なのかなと私は感じております。特にアメリカは昔、アメリカンドリームという夢がありましたが、現在ではその夢が叶うのがスポーツ選手や歌手など特殊な人しかいないのが現状です。

日本はどうかといいますが日本もアメリカと同盟国という関係なので、色々アメリカから注文がきています。日本は規制が厳しいのでアメリカからすれば簡単にはいかない国なのかなという印象です。私が税理士の世界に入った時は、日本の所得税の最高税率は70%+地方税20%で90%でした。2000万以上の所得の方は90%以上の上積みで取られていました。法人税は60%の税率、相続税も最高税率は70%という状況でした。

現在では所得税の最高税率は地方税を入れて

50%、相続税が50%、法人税は最高が約38%くらいです。800万以下の所得の方は30%くらいの税率になっています。それを今回の25年度の税制改正で、所得税を50%から住民税込で55%引き上げます。

相続税も50%から55%に上がります。日本が何故こうなったという背景を言えば、来年から消費税を5%から8%に上げることが要因として挙げられます。やはり富裕層にも多く負担してもらおうという流れなのかなと私は感じております。この税率を上げたからといって税収がたくさん上がる訳ではございません。考えてみれば分かりますが、所得4000万以上の国民は数万人しかいませんので、この改正を施行しても数百億円の税収が増えるだけだと思います。しかし、こういった事をやらないとアメリカのウォール街でのデモみたいなことが日本でも起きだしたりします。中国は所得に不満がある人が多くてあちこちで暴動が起きています。そういった面を受けて日本のここ20年間で税率を下げたことによって、所得が一定の人に集まりだしている現状を是正しようとする税制改正を行いました。本日は皆様にお伝えしたい事として相続税が色々変わりましたので、この部分に関して詳しくお話ししたいと思います。税制改正後の相続税で一番の変更点は基礎控除になります。いままで定額5000万、法定相続人1人1000万×相続人数となっておりましたが、例として奥さんとお子さんの2人の相続する形ですと最高8000万までは非課税となっており1億までの財産の人は相続税関係なしで申告も必要ありませんでした。これが現在の法律ですが、平成27年1月1日以降ですと基礎控除が3000万、法定相続人が600万×相続人数となります。要は基礎控除が40%切り下げられます。

何故、この改正が行われたのかと言いますと、平成3年のバブルの絶頂期を境に日本の土地は下がりはじめたのですが、ずっとあれから土地は波がありましたが下がりが続いています。にも関わらず基礎控除はまったく変わっていません。平成3年くらいは100人の方が亡くなると6、7人の方が相

続税の申告をしておりましたが、これが現在4.2人くらいになりこれをもう一度6、7人くらいまで増やしたいという思惑があり増やすためにはこの基礎控除を切り下げるしかないということで今回下げることになりました。そのかわり都心部の高いところに住宅地をもっている方にはいままでも居住用の財産を240平米までは土地の控除は80%減額する規定がありましたが、これを330平米広げることになりました。同時に事業と一緒にやっている方は事業の部分は別枠で400平米までは半分の評価でいいと改正されました。

また、相続税法の中には夫婦間の居住用の不動産の贈与という特例がございます。要件としては戸籍上20年以上の婚姻期間を証明出来る方が財産を持っている配偶者の方から居住用の財産2000万までの金額をもらった場合には、申告さえすれば無税となります。

次に暦年贈与というものがあります。いままでもありますが、年間110万までは無税で贈与が出来ます。これを利用して毎年相続人に年間110万以内で贈与しておけば、申告もいらないですし楽だと思います。こうやって準備しておく人としていない方は大きく違ってくるので、よく家族間で話し合っておいて実行していただきたいです。

最後にご子息に教育資金を1500万まで無税で贈与できる点についてお話しさせていただきます。具体的どうやるのかと言いますと、銀行を指定して指定した銀行に1500万預託する形になります。この贈与をできる期間ですが今年の4月1日から平成27年12月の間となっています。贈与をしたはいいいけれども貰った方が30歳になってもそれを使わなかったもしくは残った場合は貰った方が贈与を受けたとみなして申告をして税金を納めてくださいという流れになります。

それではお時間となりましたので、本日はこれにて終了とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

2012~2013年度 2月 出席表

会員名	第2478回 2月7日	第2479回 2月12日	第2480回 2月22日	第2481回 2月28日	当月(%)	通算(%)
井上 清	○	○	○	○	100.00%	100.00%
宇多村 海児	○	○	○	○	100.00%	100.00%
大木 保司	○	○	○	○	100.00%	100.00%
大塚 崇行	M	○	○	M	100.00%	100.00%
大塚 信郎	M	○	○	○	100.00%	100.00%
岡野 晴光	○	○	○	○	100.00%	96.88%
尾花 正明	○	○	○	○	100.00%	100.00%
神田 博一	○	○	○	欠	75.00%	81.88%
吉川 公夫	M	○	○	○	100.00%	96.88%
久保田 勲	M	○	○	M	100.00%	96.88%
古賀 昇	○	○	○	欠	75.00%	60.83%
小林 邦彦	○	○	○	○	100.00%	100.00%
齋藤 博重	○	○	○	○	100.00%	100.00%
齋藤 哲雄	○	○	○	M	100.00%	100.00%
齋藤 博重	○	○	○	○	100.00%	100.00%
島村 健	○	○	○	○	100.00%	100.00%
須田 悦正	○	○	○	M	100.00%	100.00%
関口 和夫	○	○	○	○	100.00%	100.00%
武重 秀雄	○	○	○	○	100.00%	100.00%
富岡 均	欠	○	○	欠	50.00%	34.58%
富永 達	○	○	○	○	100.00%	97.50%
長沼 大策	○	○	○	○	100.00%	100.00%
名取 勝	○	○	○	○	100.00%	91.25%
野尻 克美	M	○	○	M	100.00%	97.71%
野瀬 将正	○	○	○	M	100.00%	100.00%
萩原 修	○	○	○	M	100.00%	78.13%
樋口 雅之	M	○	○	M	100.00%	100.00%
深澤 圭司	M	○	○	M	100.00%	100.00%
藤村 作	M	○	○	M	100.00%	93.75%
藤野 宏道	○	○	○	○	100.00%	100.00%
宮島 亜矢子	欠	○	○	欠	50.00%	46.46%
村岡 武仁	○	○	○	○	100.00%	96.88%
横山 泰史	○	○	○	M	100.00%	96.88%
吉野 文朗	M	○	○	欠	75.00%	54.38%
渡邊 清	○	○	○	○	100.00%	87.50%

出席 会員数 36 出席数 23
 欠席 欠席数 13 (%) 63.89

前々回確定 欠席数 3
 修正 (%) 91.43 (M・U) 11

スマイル 34,000円

